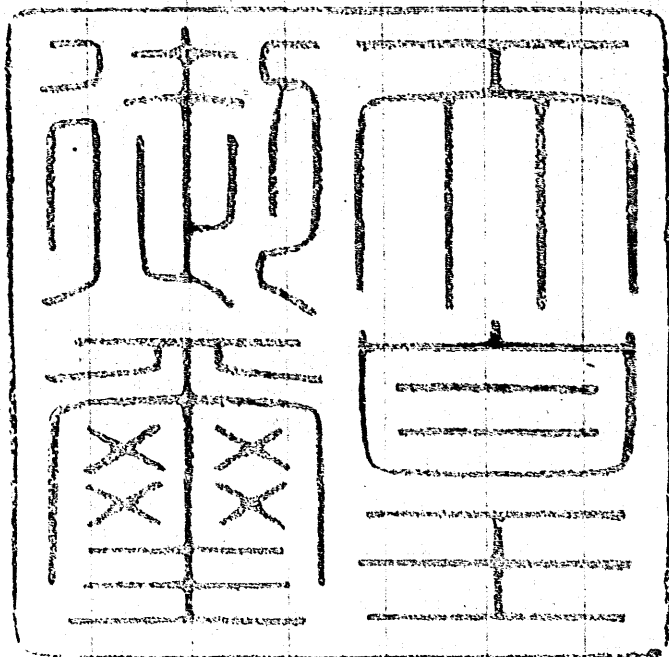


勅令第二百四十四號

朕陸軍補充令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

喜島加仁



大正九年八月七日

月

内閣總理大臣 石原 正
陸軍大臣 田中 義一

勅令第二百四十四號

陸軍補充令中左、通改正ス

第三條 歩騎砲工輜重兵科現役士官ハ

士官候補生現役特務曹長又ハ現役砲

工兵上等工長ニシテ少尉ニ任セラル

ルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充

ス

憲兵科現役士官ハ他兵科ノ現役士官

ニシテ憲兵練習所ヲ卒業シタル者又

ハ憲兵科現役特務曹長ニシテ少尉ニ

任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ
之ヲ補充ス

第四條 士官候補生ハ陸軍士官學校豫
科ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

第五條 士官候補生ニ充ツヘキ者ハ教
育總監之ヲ定メ順序ヲ附シタル名簿
ヲ調製シ各隊配賦名簿ヲ添ヘテ陸軍
大臣ニ之ヲ移ス

第六條 陸軍大臣ハ前條ノ名簿ニ基キ
士官候補生ヲ命シ各隊ニ之ヲ配賦シ

概テ六月間該隊ニ於テ下士兵卒ノ勤
務雜役ヲ及之ニ必要ナル軍事學ヲ習
得セシム

第七條 士官候補生ハ入隊ノ後直ニ上
等兵ノ階級ヲ與ヘ概テ二月ノ後伍長
ノ階級ニ概テ四月ノ後軍曹ノ階級ニ
進ム

第八條 士官候補生第六條ノ勤務ヲ習
得シタルトキハ教育總監ハ陸軍士官
學校本科ニ之ヲ入學セシム

第九條 士官候補生陸軍士官學校本科
 ナ卒業シ歸隊シタルトキハ曹長ノ階
 級ニ進メ見習士官ヲ命シ概ネ二月間
 該隊ニ於テ士官ノ勤務ヲ習得セシム
 第十條 見習士官ヲ將校ト爲スノ可否ハ
 所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓
 衡會議ニ於テ之ヲ決ス
 前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ當
 該兵科ノ少尉ニ任セララルルノ資格ヲ
 具ノルモノトス

第十一條 士官候補生ニシテ左ノ各規
 ノ一ニ該當スル者ハ士官候補生ヲ免
 ス
 一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又
 ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナ
 キ者
 二 學力乏シクシテ士官候補生タル
 ニ適セサル者
 三 將校タルノ才能ニ乏シキ者
 四 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス

又ハ疾病若ハ傷疾ニ依リ一般ノ
入學時期ヨリ一月後ニ非サレハ
陸軍士官學校本科ニ分遣シ得サル
者

五 陸軍士官學校令ニ依リ退校歸隊
ヲ命セラレタル者

六 將校銓衡會議ニ於テ否決シタル
者

七 疾病又ハ傷疾ニ依リ現役ノ服役
ニ堪ヘサル者

八 前各號ニ掲クル者ノ外士官候補
生タルヲ得ヘカラスト認メタル
者

前項ノ規定ニ依リ下士又ハ一年志願
兵出身ノ士官候補生ヲ免シタルトキ

ハ第一號ニ該當スル者ハ陸軍士官學
校豫科入學前ニ於ケル兵科部蹄鐵工
長又ハ

計手タリシ
者ハ前兵科ノ一等卒又ハ之ト同等階

級ノ兵卒ト爲シ第二號乃至第六號及
第八號ニ該當スル者竝第七號ニ該當

シ豫備役後備役、服役ニ堪フル者ハ
陸軍士官學校豫科入學前ニ於ケル兵
科部及階級、下士ニ任シ又ハ兵卒ト
為ス

第十二條 士官候補生諸勤務、習得充
分ノ結果ヲ得ス若ハ疾病傷疾ニ依リ
一般ノ入學時期ヨリ一月後ニ非サレ
ハ陸軍士官學校本科ニ分遣シ得サル
者、中又ハ陸軍士官學校本科分遣中
學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナ

ク若ハ疾病傷疾ニ依リ修業ニ堪ハス
歸隊シタル者、中尚望アル者ハ前條
ノ規定ニ拘ラス一回ヲ限り更ニ指定
スル入學時期迄所屬隊ニ止ラシムル
コトヲ得

第十三條 憲兵科士官候補者タルヘキ
他兵科ノ士官並各兵科少尉候補者々
ルヘキ特務曹長及上等工長ノ人員ハ
陸軍大臣毎年之ヲ定ム

第十四條 憲兵科士官候補者ハ他兵科

、士官ニシテ身體強健勤務精勵將來
發達ノ見込アリト認ムル者ニシテ憲
兵科士官ヲ志願シ聯隊長ニ於テ選抜
シタル者ノ中ヨリ陸軍大臣之ヲ定ム
陸軍大臣ハ憲兵科士官候補者ヲ憲兵
練習所ニ入學セシム

第十四條ノ二 各兵科少尉候補者ハ實
役停年二年以上ノ現役、特務曹長又
ハ砲工兵上等工長中身體強健人格成
績共ニ優秀且家庭良好ナル者ニシテ

聯隊長官衙學校ニ在リ、
テハ其長以下同シノ選抜シタル者
ノ中ヨリ試験、上陸軍大臣之ヲ定ム
前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定
ム

第十四條ノ三 陸軍大臣ハ各兵科憲兵科
ヲ除ク
少尉候補者ヲ陸軍士官學校砲工兵上等
工長ニ在リ
テハ陸軍
工科學校ニ入校セシム

陸軍士官學校又ハ陸軍工科學校ヲ卒
業シタル少尉候補者ハ概テ二月間所
屬部隊陸軍工科學校ヲ卒業シタル者ニシテ陸軍
技術本部又ハ砲兵工廠所屬以外ノ者ニ在リ

技術本部ニ於テ士官、勤務ヲ習得セ
シム

前項ノ規定ニ依リ士官ノ勤務ヲ習得
セシメタル者ヲ將校ト爲ス、銓衡及
其ノ任官ノ資格ニ關シテハ第十條ノ
例ニ依ル但シ陸軍工科學校ヲ卒業シ
タル少尉候補者、銓衡會議ハ陸軍技
術本部ニ於テ勤務ヲ習得スル者ニ付
テハ陸軍技術本部、將校砲兵工廠ニ
於テ勤務ヲ習得スル者ニ付テハ砲兵

工廠ノ將校ヲ以テ之ヲ組織ス

第十四條ノ四 陸軍大臣ハ憲兵科少尉
候補者ヲ憲兵練習所ニ入學セシム
憲兵練習所ヲ卒業シタル憲兵科少尉
候補者ハ憲兵少尉ニ任セララルル、資
格ヲ具フルモトス

第十四條ノ六 前條ノ見習士官ハ大學
令ニ依ル大學ノ工學部又ハ理學部ニ
於テ工學又ハ理學ヲ修メ學士ト稱ス
ルコトヲ得ル者ヨリ之ヲ採用ス

第十四條、七中「六月ヲ」二月ニ「一年志願兵服役中ノ者」ヲ「下士兵卒」ニ改ム

第十四條、九中「一年志願兵」ヲ「下士兵卒」ニ改ム

第十五條 經理部現役士官ハ各兵科兵憲

科ヲノ現役士官ニシテ陸軍經理學校

ヲ卒業シタル者又ハ各兵科兵憲若

ハ經理部、准士官下士ニシテ三等主

計ニ任セラルル者、資格ヲ具フル者ヲ

以テ之ヲ補充ス

第十六條 經理部士官候補者タルハキ

各兵科兵憲士官並三等主計候補者

タルハキ各兵科兵憲及經理部、准

士官下士ノ人員ハ陸軍大臣毎年之ヲ

定ム

第十七條 經理部士官候補者ハ身體強

健勤務精勵將來發達、見込アリト認

ムル各兵科兵憲大中尉ニシテ經理

部士官ヲ志願シ聯隊長ニ於テ選抜シ

タル者、中ヨリ試験、上陸軍大臣之

ヲ定ム

前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十八條 三等主計候補者ハ身體強健

人格成績共ニ優秀且家庭良好ナル各

兵科兵科ヲ除ク准士官曹長及經理部准士

官下士一等計于一等縫靴工長ニ限ルニシテ經理部士

官ヲ志願シ聯隊長又ハ所管經理部長

ニ於テ選抜シタル者中ヨリ試験

上陸軍大臣之ヲ定ム

前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十九條 陸軍大臣ハ經理部士官候補

者及三等主計候補者ヲ陸軍經理學校

ニ入校セシム

陸軍經理學校ヲ卒業シタル三等主計

候補者ハ所屬部隊ニ於テ經理部士官

ノ勤務ヲ習得セシム

第二十條 陸軍經理學校ヲ卒業シタル

三等主計候補者ヲ經理部士官ト爲ス

ノ可否ハ當該經理部ノ所在地ニ於ケ
ル當該經理部所管一等主計以上ノ者
ヲ以テ組織スル經理部士官銓衡會議
ニ於テ之ヲ決ス
前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ三
等主計ニ任セラレルルノ資格ヲ具フル
モノトス

第二十一條 削除

第二十二條 削除

第二十三條 削除

第二十四條 削除

第二十五條 削除

第二十七條第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 前各號ニ掲クル者ノ外醫師法第

一條第一項第一號乃至第三號ニ

該當スル者又ハ藥品營業並藥品

取扱規則第四十六條第一項ノ規

定ニ依リ藥劑師免狀ノ下付ヲ願

出ツルコトヲ得ル者若ハ同條第

二項ノ規定ニ依リ藥劑師免狀ヲ

授與セラレタル者

第二十八條中「六月」ヲ「二月」ニ「一年志願兵」
ヲ「下士兵卒」ニ改ム

第二十九條中「學力」ヲ有スル者、下ニ「並
豫科三年本科三年以上、醫學專門學校
ヲ卒業シタル者」ヲ加フ

第三十條中「一年志願兵」ヲ「下士兵卒」ニ改
ム

第三十二條第四號中「獸醫學校」ヲ卒業シ
、下ニ「若ハ陸軍獸醫部准士官下士」ニシ

ニ「ヲ加ヘ但書ヲ削ル

第三十三條中「六月」ヲ「二月」ニ「一年志願兵」
ヲ「下士兵卒」ニ改ム

第三十五條中「一年志願兵」ヲ「下士兵卒」ニ
改ム

第三十八條 前條ノ勤務演習ニ應召シ
タル者ハ入隊後直ニ曹長同相當官ノ

階級ニ進メ豫備役ノ見習士官見習主
計見習醫官見習藥劑官又ハ見習獸醫
官ヲ命ス其ノ取扱ハ現役見習士官ニ

準ス

第四十一條中第十二條第二十三條ヲ第十條第二十條ニ改ム

第四十四條及第四十五條中砲工諸工ヲ長ヲ除ク

砲工諸工ニ改ム

第四十六條 現役砲工兵諸工長ハ左ノ

各親ノ一ニ該當スル者ヲ以テ之ヲ補充ス

一 陸軍工科學校生徒ノ課程ヲ終ヘタル者

二 砲工兵工長適任證書ヲ有スル各

兵科上等兵ニシテ歸休ヲ命セラ

レ又ハ現役期限滿ツル迄在營シ

テ豫備役ニ入り退營後二年以内

ニ現役砲工兵工長ヲ志願スル者

三 豫備役後備役ノ砲工兵工長ニシ

テ現役滿期後二年以内ニ現役ヲ

志願スル者

第六十條ノ二 憲兵科士官ハ他兵科ノ

士官ヨリ直ニ之ニ轉科セシムルコト

ヲ得

第六十一條 士官ハ左ニ掲クル者ヲ以
テ之ヲ補充スルコトヲ得

- 一 現役豫備役後備役、見習士官見習醫官見習藥劑官見習獸醫官又ハ豫備役後備役、見習主計
- 二 現役豫備役後備役、特務曹長砲工兵上等工長又ハ上等計手ニシテ曹長同相當官ニ任セラレタル日ヨリ二年以上實務ニ服シタル者

三 豫備役後備役上等看護長ニシテ衛生部士官勤務適任證書ヲ有スル者

四 豫備役後備役上等蹄鐵工長ニシテ獸醫部士官勤務適任證書ヲ有スル者

前項補充ノ時期及區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六十一條ノ二 現役豫備役後備役准士官衛生部、獸醫部、若クハ除クニシテ左ノ各號、一

ニ該當スル者ハ士官ニ之ヲ任スルコトヲ得

一 敵前ニ在リテ殊勲ヲ奏シ首將全軍ニ之ヲ布告シタル者

ニ 殊勲ヲ奏シタル者又ハ勲功顯著ナル者ニシテ傷疾又ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタル者

第六十二條第一項第一號及第六十三條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 下士ニシテ各兵科部士官勤務適

任證書ヲ有スル者

第六十四條中現役ノ見習士官見習主計

見習醫官見習藥劑官又ハ見習獸醫官ヲ

現役見習士官ニ改ム

第六十九條 削除

第七十條 砲工兵工長ハ左ニ掲クル者

ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

一 陸軍工科學校生徒ニシテ概シ一

年以上同校ノ課程ヲ修メタル者

ニ 兵器器材等ニ関スル技術ヲ習得

シタル陸軍工卒ニシテ陸軍工科
學校ニ分遣セラレ概テ六月間砲
工兵諸工長ニ必要ナル學術ヲ習
得シタル者

前項第二號、分遣ノ方法及時期ハ陸
軍大臣之ヲ定ム

第七十一條中「上等兵」ヲ「兵卒」ニ改ム

第七十四條 第六十一條又ハ第六十一
條ノ二ノ規定ニ依ル任官ハ戰地ニ在
リテハ陸軍武官進級令ニ依リ進級セ

シムルノ權ヲ委任セラレタル首將之
ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ
ハ第六十一條第二項ノ規定ヲ適用セ
ス

第七十九條中「主計候補生」ヲ削ル

第八十一條中「砲兵諸工長」ヲ「砲工兵諸工

長」ニ東京砲兵工廠提理ヲ陸軍技術本部

長第四十六條第二號ニ該當スル
砲工兵工長ニ在リテハ師團長ニ改ム

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行

ス
本令施行、際現ニ在隊スル現役見習士
官、取扱及任官ニ付テハ仍従前ノ例ニ
依ル
士官候補生ハ大正九年及大正十年ニ限
リ仍従前ノ例ニ依リ召募試験ニ及第シ
タル者ヨリ之ヲ採用スルコトヲ得
大正九年大正十年又ハ大正十一年陸軍
士官學校本科ニ入學スル士官候補生ノ
入學前ニ於ケル取扱ハ仍従前ノ例ニ依

ル但シ其ノ入學ノ時期ハ當該入學年ノ
十月トス
本令施行、際現ニ准尉タル者ハ當該兵
科、少尉ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得
別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ之
ニ任セラレタルモノトス
本令施行、際現ニ主計候補生タル者ノ
取扱及經理部士官ニ之ヲ補充スルニ付
テハ仍従前ノ例ニ依ル
當分、内砲兵火工長ハ第四十六條ノ規

定ニ依ルノ外陸軍工科學校ニ於テ火工
術ヲ習得シタル砲兵科下士ヲ以テ之ヲ
補充スルコトヲ得
當分ノ内工兵諸工長ハ第四十六條ノ規
定ニ依ルノ外二年以上技術ニ関スル部
隊ニ在職シ當該技術ニ堪能ナル工兵科
下士ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得